

久喜市における

公共施設アセットマネジメントと

公共施設個別施設計画

令和7年11月10日(月)
久喜市アセットマネジメント推進課

公共施設の老朽化問題



＜山梨県・中央道笹子トンネル崩落事故（平成24年）＞

約 1 t の天井が約330枚落下（死亡者9名、負傷者2名）

施設の老朽化が原因

公共建築物等の維持管理・更新を確実に実施するため、「**公共施設アセットマネジメント**」の取組みを国を挙げて推進



「**久喜市公共施設等総合管理計画**」
平成28年3月策定、令和4年3月改訂

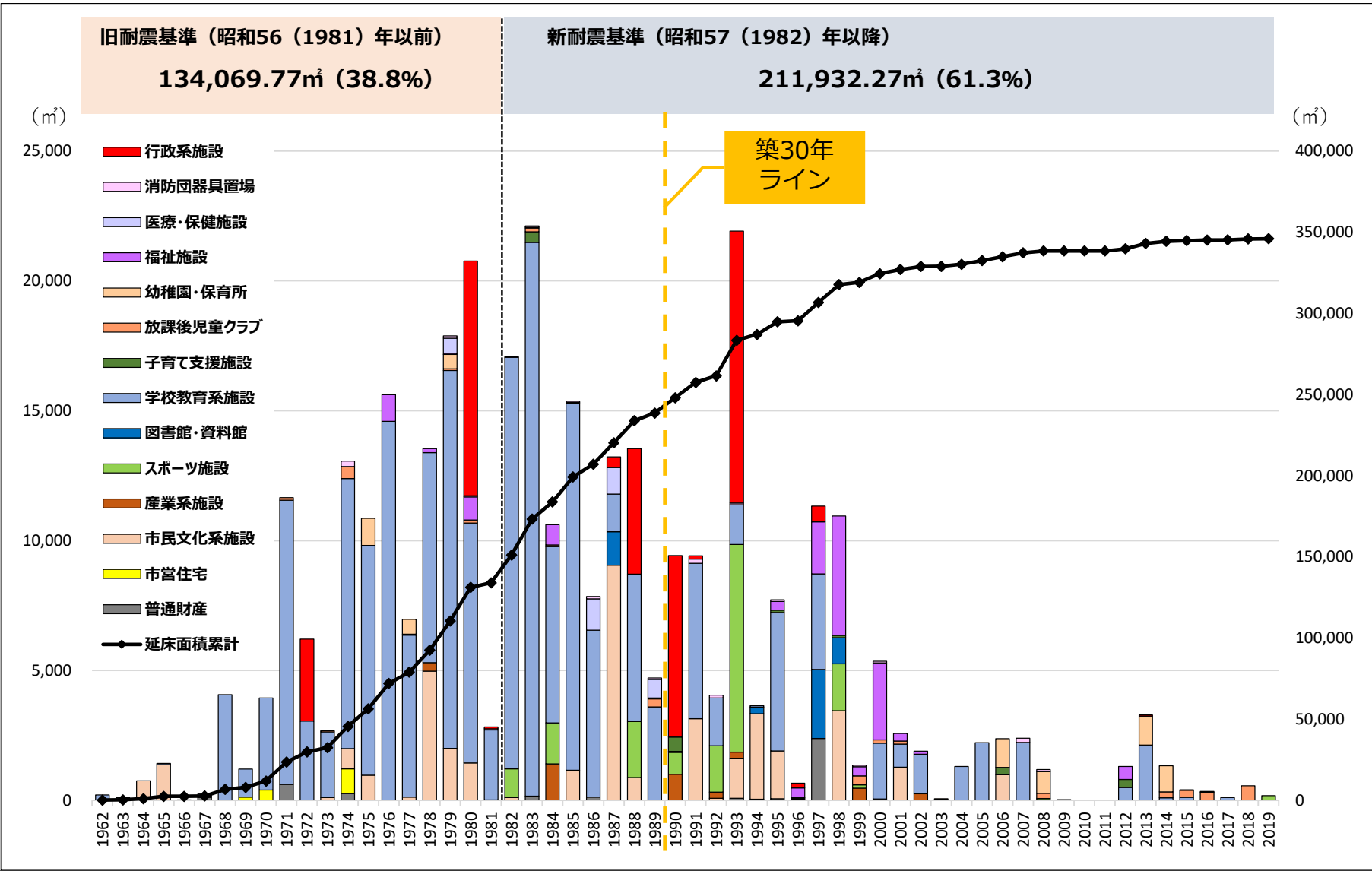


「**久喜市公共施設個別施設計画**」
令和3年3月策定、令和6年3月改訂

公共建築物
を対象に

個々の施設の
将来の方向性
を計画化

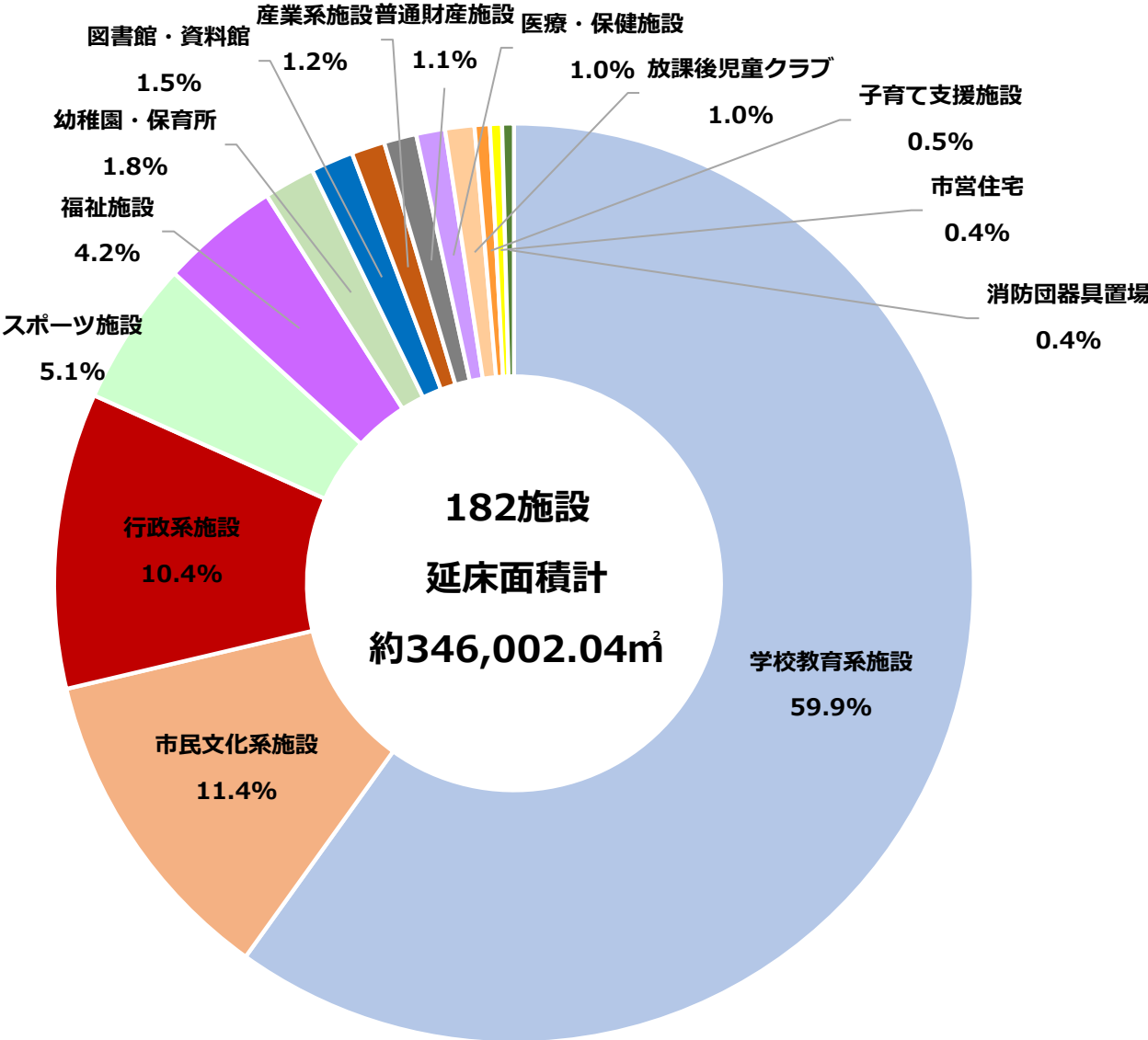
久喜市における公共施設の整備状況



築30年以上の割合は
全体の70%超に

施設分類別の所有状況

令和2年3月31日時点

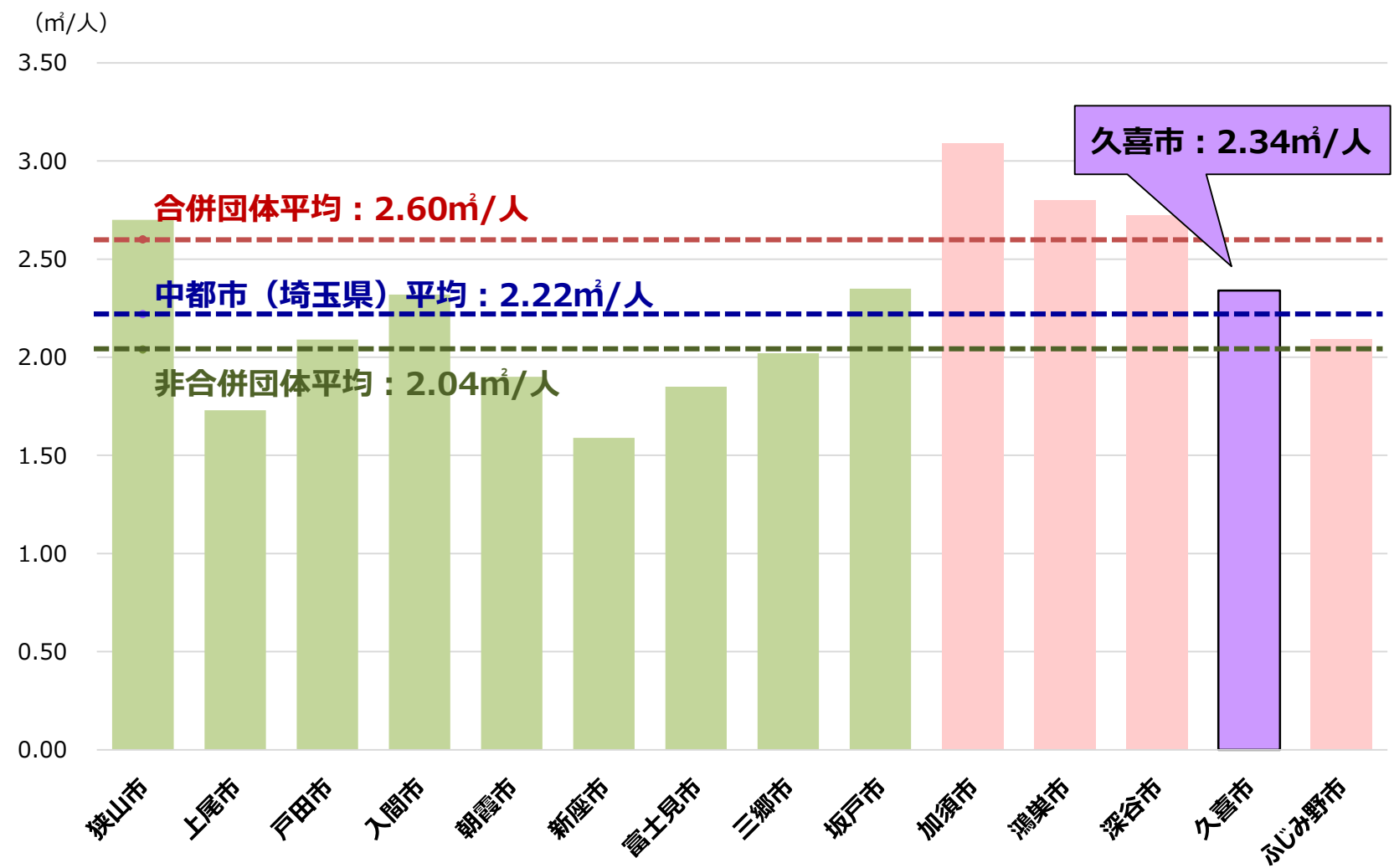


地区別の所有状況

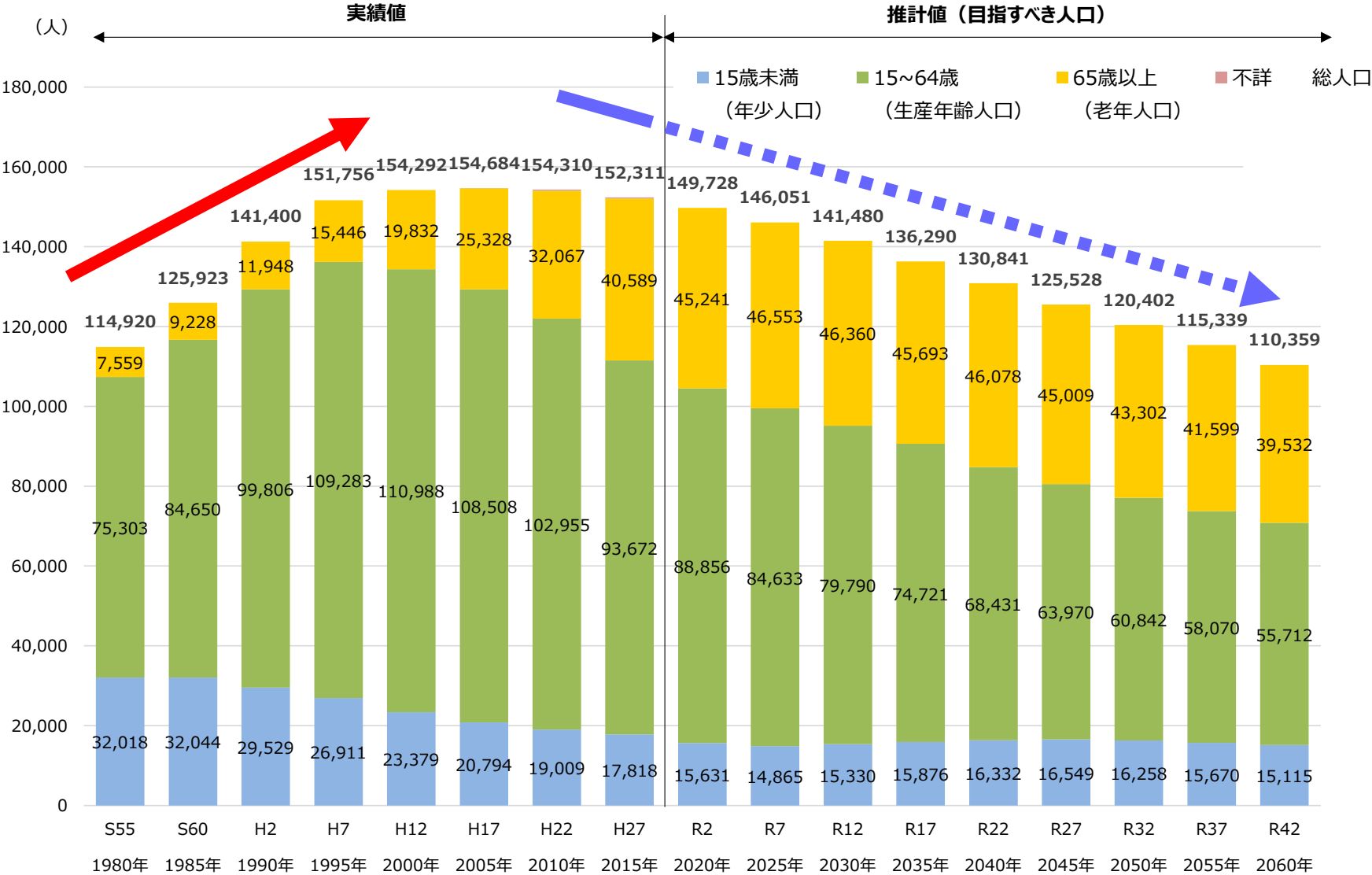
施設大分類	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷺宮地区	計（施設）
行政系施設	4	1	1	1	7
消防団器具置場	10	5	6	4	25
医療・保健施設	2	1	1	1	5
福祉施設	5	2	2	3	12
幼稚園・保育所	7	0	1	0	8
放課後児童クラブ	9	4	3	5	21
子育て支援施設	3	1	2	3	9
学校教育系施設	14	8	5	9	36
図書館・資料館	1	1	1	2	5
スポーツ施設	3	2	2	2	9
産業系施設	3	3	0	1	7
市民文化系施設	13	4	4	4	25
市営住宅	1	0	1	0	2
普通財産	6	4	1	0	11
合計	81	36	30	35	182



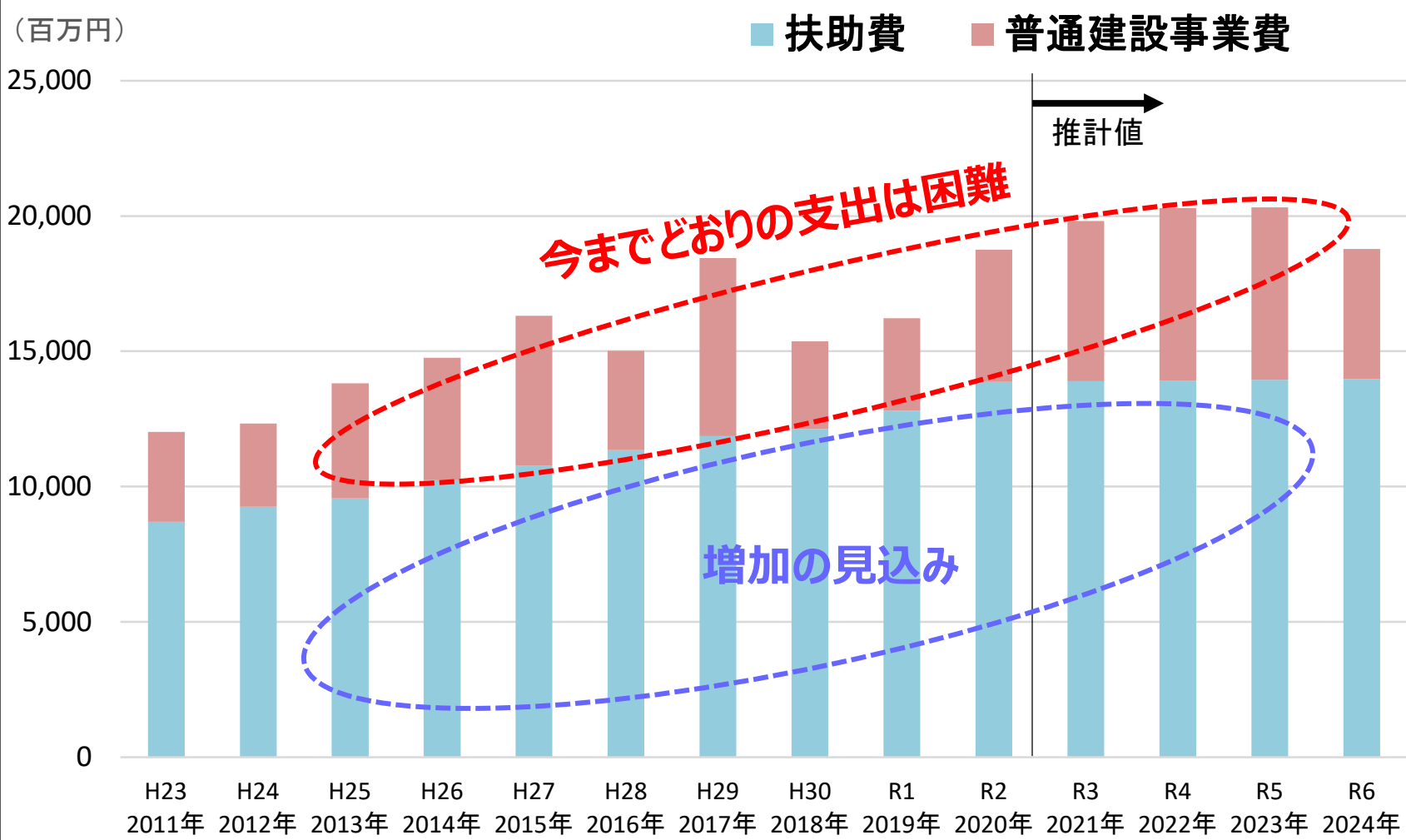
埼玉県内同規模自治体との比較



人口の推移



財政の状況（扶助費と普通建設事業費の推移）



現在所有する全ての公共建築物を維持し、必要な改修や更新を行った場合...



令和2年からの35年間で必要となる費用は、
約1,515.7億円
(約43.3億円/年)



これまでの費用の
約1.6倍の費用が必要に

公共施設の劣化状況



屋上の防水層の劣化



外壁の損傷



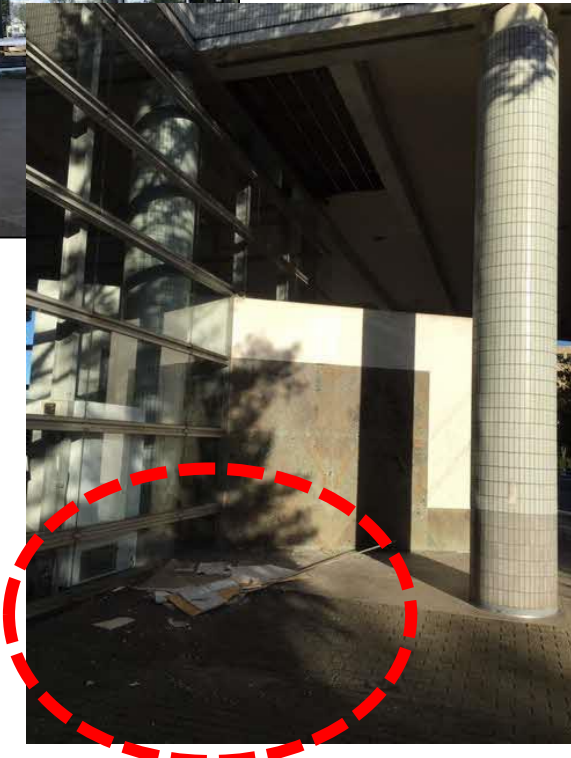
天井材の一部脱落



電気設備の損傷



令和元年台風19号
による被害
(久喜総合文化会館)



久喜市公共施設個別施設計画

次世代へ安全・安心かつ魅力ある公共施設を引き継ぐために、
個別施設における具体的な検討時期や今後の方向性を示す計画

計画期間： **35年間**（令和3年度～令和37年度）

※おおむね10年間を目安に計画を見直し

計画目的： 久喜市公共施設等総合管理計画を推進し、施設の適正な配置と財政規模に
応じた対策費用の平準化を実践するための基本方針や方向性、年次計画
を定めることを目的とする

対象施設： 本市の保有する公共建築物 **182施設** **約34.6万²m**

市民アンケート

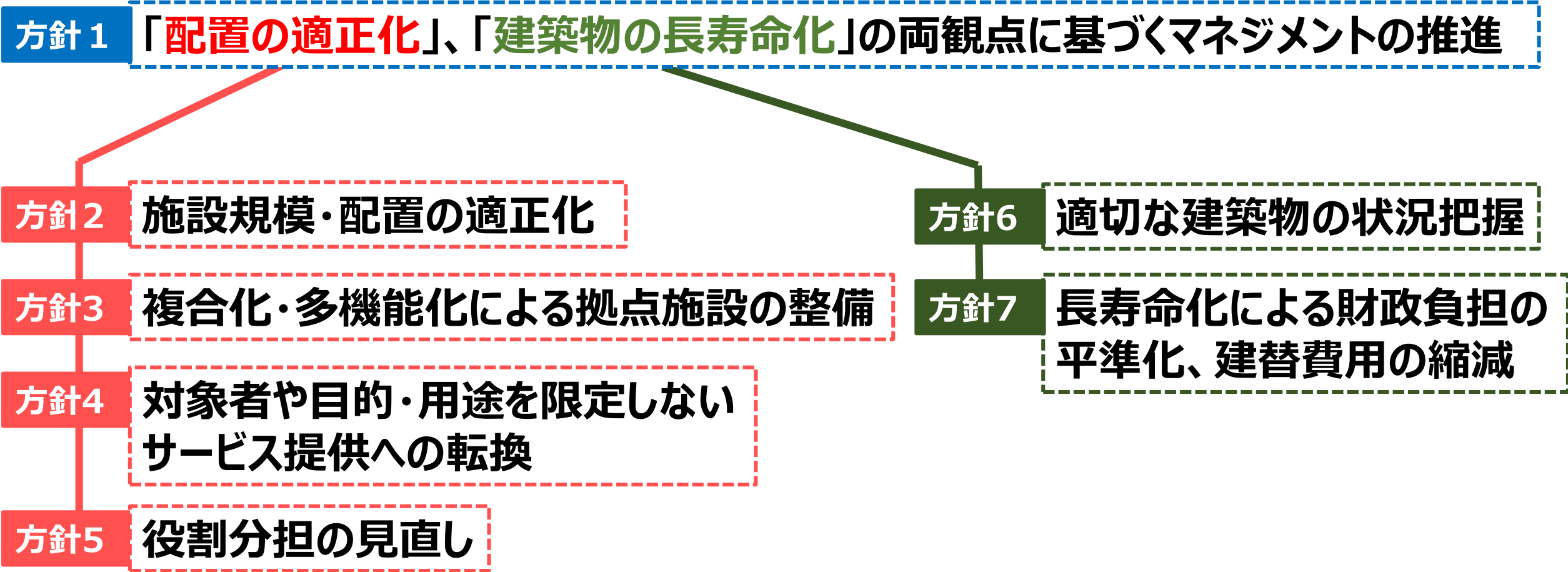
地域懇談会

外部検討会

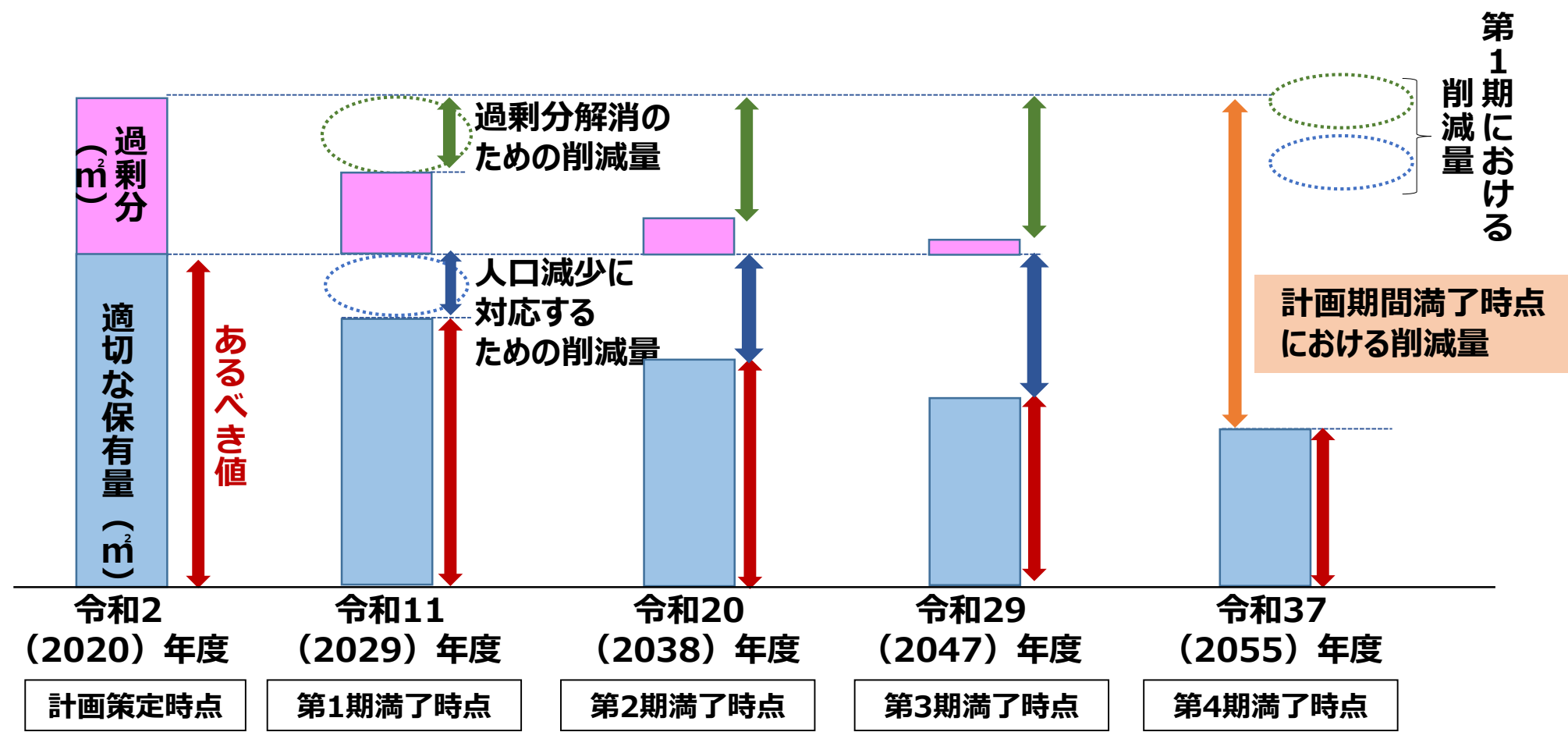
パブリック・
コメント

情報発信

公共施設の適正化に向けた基本方針



本市の適切な保有量「あるべき値」



公的基準

同規模自治体の状況

市の政策判断

総人口152,311人
(H27国勢調査)

総人口
115,339人 (久喜市人口ビジョン)

施設分類別適正配置計画 ※久喜市役所の例

総量削減、将来更新費用の抑制の観点から、長期的な視点（35年間）に基づき、
「維持」、「廃止」、「集約化」、「転用」、「譲渡」など、
個別施設の**適正配置の方向性**を記載

No.	施設名	将来更新	分類	長期計画		第1期計画 2021～2029	第2期計画 2030～2038	第3期計画 2039～2047	第4期計画 2048～2055
				方向性	取組内容				
1	久喜市役所	—	機能	集約化	現本庁舎を増築し、本庁舎機能を集約する。行政本庁機能はすべて増築棟へ移転・集約し、保健センター、子育て支援施設を有する複合拠点施設として使用を継続する。		集約化	保健・子育て複合施設 （医療・保健施設、 子育て支援施設） に転用	
			建物	転用			転用		
新1	（新）久喜市役所本庁舎（増築棟）	—	機能	維持	現本庁舎に増築棟を新築し、本庁舎機能を集約する。		新築		
			建物	新築					

施設分類別保全計画 ※ふれあいセンター久喜の例

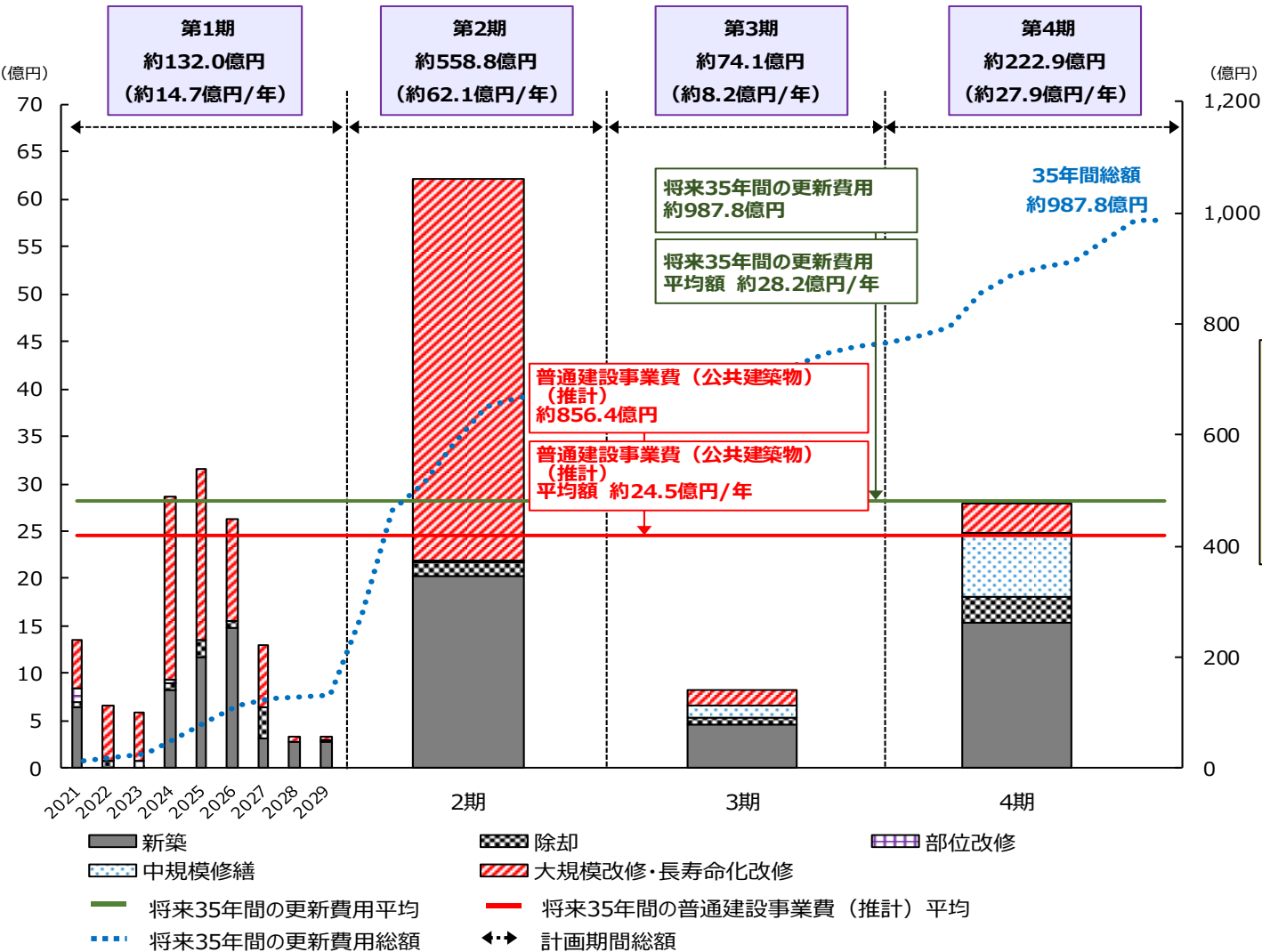
施設の方向性や劣化状況に基づき、建物の改修等に関する
対策の内容や実施時期を定め、それに要する費用を記載

No.	施設名称（棟名称）	建築年	第1期の方向性	上段：建築からの経過年 中段：対策内容 下段：対策費用（千円）								
				R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
1-1	ふれあいセンター久喜	1998	維持	23	24	25	26	27	28	29	30	31
									大規模改修			
									1,011,400			

削減効果の検証① 施設総量



削減効果の検証② 対策費用



本計画に基づく対策を実施した場合、
35年間で必要となる費用は…

約987.8億円
（約28.2億円/年）

今ある全ての施設を
維持し続けると、
総額約1,515.7億円
（約43.3億円/年）

削減効果は…
総額約527.9億円
（約15.1億円）

削減率 **34.8%**

将来の財政状況を踏まえ、
更なる費用の圧縮と平準化
について、今後も検討が必要

今ある全ての公共施設を維持し続けることは実質不可能 将来の財政状況と人口規模に応じた施設総量の削減が必要



久喜市公共施設個別施設計画は、次世代に負担を残さない形で安全・安心な公共施設を引き継ぎ、住みよいまちづくりを実現するための方向性を示しています。

この計画に基づき、公共施設アセットマネジメントを適切に進めていくことで、**将来にわたり持続可能な公共施設**の運営を目指します。